

# 津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2018・3月号

石川県学校生活協黒字化3か年計画の2年目

## なないろプラザに明治安田生命KK津幡営業所入館！ 太陽光発電の屋上設置！ 臨時理事会で承認

2月15日木曜日午後3時から石川県学校生活協臨時理事会を開催しました。協議事項は「明治安田生命津幡営業所のなないろプラザ入館についてと太陽光発電設備の設置について」でした。営業所の入館とは、現在の第一・二・三会議室を事務所として、その前のフロアは会議室として、そして書庫を営業所に貸し出すというものです。太陽光発電については、プラザの屋上に設置することを提案しました。前者を実施するための改築及び駐車場の増設で約2800万円、太陽光発電の設置には約1350万円はかかります。これらの4150万円の投資費は現金預金(約8億円)から支出します。従って2018年度の経常剰余金には影響しません。収入としては、家賃で年816万円、売電で年167万円が見込まれます。その他の支出として共益費に約20万円、減価償却費に約100万円かかる予定です。全体としてこの事業を実施することにより年間で約900万円の収益が出ます。

このことにより来年度からは、経常剰余金が大幅に改善することになります。しかし、改善であって即黒字に転換とはなりません、黒字化が見えてくることになります。少しホッとする状態にはなりません。しかし、私たちの目標はあくまでも、利用高割戻ができる学校生活協に戻すことです。それには、供給(売上げ)をもっともっと増やす取り組みをしなければなりません。これからのご協力をお願いいたします。



2017年度2月末 1,450万円の赤字です、計画目標より178万円悪化。

石川県学校生活協の2017年度2月末現在の経常剰余金は▲1,450万円です。計画目標は▲1,272万円でしたから178万円悪化しています。2016年度2月末は▲920万円でしたから、それよりも530万円の悪化です。2017年度の年間目標は▲880万円です。今は、この目標達成に向けて努力をしていますが、大きな危険信号が灯っています。1品といわず、2品、3品のご購入をお願いいたします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

### 《学校生活協と私》 学校生活協 中多 晃

私が嶺石川県学校用品の代表になってから三回目の春を迎えました。新人の頃に最初に配属されたのが学校用品で、当時は新一年生用品や図工セット、書道セットなどの営業で学校を訪問し、先生とお話する時間を職員室の隅でドキドキして待ったことを今でも時々思い出します。現在は学校の様々な備品や消耗品をネットでも対応できるスマートスクールが主力となり、時代の流れを感じることもありますが、やはり直接先生方にお会いして、学校現場のお話を聞かせていただきながら、学校に必要なもので私たちが対応できるものは何か、見つけ出すことが最も大切なことだと思います。先生方にとっては、私の所属が学校用品でも学校生活協でも関係なく、「久しぶり、よく来たね」と声をかけてくださり、食品や家電製品、日用品から宝石のことまでご相談いただけることを嬉しく思います。今では自分より若い先生が年々増えてきており、ジェネレーションギャップを感じて引かれてしまうことのないよう、常に新しい情報にも目を向けて時代の波に乗りながら、これからの学校生活協を皆様と共に未来へつなげていきたいと思っております。

### 編集後記

#### ジャガイモの茎刺し定植もありますよ。

「ジャガイモは、春分の日(今年は3月21日)に植えると良い」と聞いて以来ずっと実行していますが、もう一つ「茎刺し」という方法でも定植をしています。これは、①ジャガイモを丸ごと土に植え、②茎が地上20センチくらいになったら種ジャガイモごと丁寧に掘り起し、③根ごときれいにはずし、④根つきの茎を15センチほどの深さの穴に定植するというものです。この方法での利点は、1個の種ジャガイモから10本くらいの茎が得られ、それらを20センチ間隔で密植できるので狭い土地でも収穫できることです。欠点は、中くらいのジャガイモばかり収穫でき、大きなジャガイモができていくことです。この方法の応用として、ジャガイモの茎が出て、芽を3本だけに整理する時、その捨てられる間引き茎を根付きで丁寧に引き抜き、深さ15センチの穴に植えるとジャガイモができます。

茎刺し定植のもう一つの利点は、茎を取った種ジャガイモを食べることができることです。一度試してみられてはどうでしょう。(ほその)